

人事院・早稲田大学大隈記念大学院公共経営研究科主催 意見交換会
ドイツ・イギリスにおける幹部国家公務員人事について

ドイツからアンドレアス・シュルツ連邦内務省公務員局局長常任代理を、イギリスからジャネット・パラスケバ人事委員会委員長を招聘し、ドイツ及びイギリスにおける幹部国家公務員の選考過程、政治的中立性の確保及びその運用等に関する意見交換会を開催します。

主催: 人事院・早稲田大学大隈記念大学院公共経営研究科

日時: 平成22年11月17日(水) 10:30~13:00

会場: 早稲田大学大隈記念タワー(26号館)8階802教室

プログラム

開会あいさつ:

江上能義 早稲田大学公共経営研究科研究科長

永長正士 人事院事務総局審議官

基調報告:

稲継裕昭 早稲田大学公共経営研究科教授

アンドレアス・シュルツ ドイツ連邦内務省公務員局局長常任代理

ジャネット・パラスケバ イギリス人事委員会委員長

研究者との意見交換: テーマに関心を持つご参加の研究者等の皆さまと独・英のお二人との間で、自由な意見交換をいただきます。

結びのコメント: 独・英のお二人

閉会

日本語・英語・ドイツ語の逐次通訳付きです。

◆参加無料

◆申込: 件名を「研究者との意見交換会」とし、氏名、連絡先を明記の上、以下までお申し込みください。

※定員(50名)に達し次第締め切らせていただきます。

okumaschool@list.waseda.jp

◆会場アクセス: <http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>

JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅から都営バス早大正門下車徒歩1分
地下鉄東西線「早稲田駅」下車徒歩5分

◆問合せ先:

人事院事務総局国際課(増尾、高原)

Tel:03-3581-5324

早稲田大学大隈記念大学院公共経営研究科(野原、村田)

Tel:03-3203-6150

シュルツ局長常任代理・パラスケバ委員長 略歴

アンドレアス・シュルツ ドイツ連邦内務省公務員局局长常任代理

フランクフルト大学卒業(法学専攻)

1988年～1990年 連邦行政庁の法律顧問

1990年 連邦内務省入省

シェンゲン協定担当課長、国際警察案件担当課長等を歴任。

2010年9月～ 現職

(連邦人事委員会代理委員就任予定)

※連邦内務省公務員局は、ドイツ公務員(官吏及び公務被用者)の勤務条件にかかる法令の立案及び実施を担当する役割を担う。また、公務被用者の労使交渉に当たっては、使用者代表として協約を締結する。なお、連邦内務省公務員局長は連邦人事委員会(官吏制度の中立性の確保及び成績主義の原則の遵守を任務とする)の常任の正委員となっている。

ジャネット・パラスケバ イギリス人事委員会委員長

1967年 教員免許取得

1983年 オープン大学卒業

2006年 ブライトン大学名誉博士

2009年 ウスター大学名誉修士

青年司法委員会委員、国立青年庁長官等を歴任。

2006年1月～ 現職

※人事委員会は、イギリス公務員の採用規範の制定・発出、高いレベルの上級公務員の採用についての承認、各省の採用制度の監査等を行う政府から独立した組織。委員長及び委員は、上級公務員の採用に当たり、各省が設置する選考委員会の委員長となる等の役割も担う。